

科学と社会委員会
政府・産業界・市民との連携強化分科会
(第25期・第2回) 議事概要

1. 日 時：令和3年11月19日（金）17：00～18：55

2. 会 場：オンライン会議

3. 出席者：岩井委員、大塚幹事、神田幹事、岸本副委員長、田近委員、西村委員、菱田委員長、山口委員、江村委員、翁委員、菊地委員、犬塚委員

4. 議 題：

冒頭、菱田副会長から本日の会合の趣旨について説明があり、以下の議論が行われた。

(1) 経済界との対話議題案について

岸本副委員長より、江村委員と当分科会の委員長、副委員長および幹事等が、経団連と学術会議との対話の意義や議題案について、事前に意見交換した結果を報告した。この報告資料をベースに、対話に向けたプロセスや議題案について、委員間で意見交換を行った。

議論の中では、学術会議と産業界が対話を進めるためには長期的で大きな課題を共有することが大事ではないか、産業界が発出している報告書等から産業界の問題意識を理解して産業界が興味を持ってくれるテーマをピックアップして生煮えの段階から対話を始めてはどうか、テーマを早期に決めてカウンターパートを相談すべき等の意見が交わされた。

(2) 外部機関等との意見交換に関するガイドライン（素案）について

菱田委員長より、資料に基づき、ガイドライン作成の目的と内容について説明があった。基本的考え方に記載された、意見交換の目的や日本学術会議の職務の独立性について質疑が行われた。今後、委員からの意見を反映して案をブラッシュアップし、幹事会に提出することとした。

(3) その他

菱田委員長から、政府・産業界・市民への日本学術会議の活動を示す成果としては、提言作成のみにこだわらず、学術フォーラムや学術の動向を介した発信なども考えるとの発言があった。

以上